

| | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|---|---|---------|----|-----------|----|
| 科目名 | プレゼンテーション | | | | | | 年度 | 2025 | |
| 英語科目名 | Presentation | | | | | | 学期 | 前期 | |
| 学科・学年 | AIシステム科 1年次 | 必/選 | 選P | 時間数 | 30 | 単位数 | 1 | 種別※ | 実習 |
| 担当教員 | 黛 宏明 | | 教員の実務経験 | | 有 | 実務経験の職種 | | システムエンジニア | |
| 【科目の目的】 自分の意見や仕事での報告をわかりやすく伝え、円滑なコミュニケーションを行うことは社会人にとって必須のスキルである。さらに、これらをプレゼンテーションとして行う機会が卒業制作や就職活動、企業への就業後にあることが想定される。この授業は、伝える内容を吟味し、論理的に組み立て、資料としてまとめ、魅力的なプレゼンテーションが行えるようになることを目的とする。 | | | | | | | | | |
| 【科目の概要】 この科目では以下の内容を扱う ・プレゼンテーションの目的とゴールを明確にする ・より良いデザインを考え、それを表現するためのツールを検討する ・ノンバーバル要素など、実践的なプレゼンテーションについて学習する ・グループプレゼンテーションなど、応用的なプレゼンテーションについて学習する ・最終プレゼンテーション | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 自分に与えられた条件を吟味し、プレゼンテーションに必要なものを整理できるようになる。聞き手に伝わるためにはどのようなストーリーで、どのような資料を作成するのかなど、良いプレゼンテーションを行うためのアイデアが出せるようになる。資料作成ツールであるPowerPointが使いこなせる。特にビジュアルコンテンツを有効に活用できる。実際にプレゼンテーション（ライトニングトーク）を行い、人前で発表できる。就職活動や卒業制作発表時に役立てることができる。 | | | | | | | | | |
| 【授業の注意点】 社会人に一番必要となる素養はコミュニケーション能力と言われている。コミュニケーション能力が必要とされる場面は、マンツーマンで一人の相手と対応する場合、プロジェクトグループなど少人数の集団の中でのコミュニケーション、そして1対多数を相手とするプレゼンテーションの場面などである。主に多人数相手のプレゼンテーション技術と心構え、更にプレゼンテーション資料を作成するための道具であるPowerPointの基本操作を習得することを目的としている。チームでプレゼンテーションを行い、学生に評価をしてもらう。 | | | | | | | | | |
| 評価基準＝ルーブリック | | | | | | | | | |
| ルーブリック評価 | レベル5 優れている | レベル4 よい | レベル3 ふつう | レベル2 あと少し | レベル1 要努力 | | | | |
| 目的とゴール | プレゼンテーションの目的とゴールを明確に説明し、みずから実践することができる | プレゼンテーションの目的とゴールを明確に説明することができる | プレゼンテーションの目的とゴールをある程度説明することができる | プレゼンテーションの目的とゴールをあまり理解していない | プレゼンテーションの目的とゴールをある理解していない | | | | |
| より良いデザインとツール | プレゼンテーションにおけるより良いデザインを説明し、みずからツールを検討して発表資料を作成することができる | プレゼンテーションにおけるより良いデザインを把握し、発表資料を作成することができる | プレゼンテーションにおけるより良いデザイン意識した発表資料を作成することができる | 発表資料を作成することができるが、プレゼンテーションにおけるより良いデザインが意識できていない | 発表資料を作成することができない | | | | |
| ノンバーバル要素などの実践的なプレゼンテーション | ボディランゲージなど、プレゼンテーションにおけるノンバーバルな要素を理解し、みずから魅力的に実践することができる | ボディランゲージなど、プレゼンテーションにおけるノンバーバルな要素を理解し、ある程度実践することができる | ボディランゲージなど、プレゼンテーションにおけるノンバーバルな要素を理解している | ボディランゲージなど、プレゼンテーションにおけるノンバーバルな要素があまり理解できていない | ボディランゲージなど、プレゼンテーションにおけるノンバーバルな要素が理解していない | | | | |
| グループプレゼンなどの応用的なプレゼンテーション | グループプレゼンなど、応用的なプレゼンテーションの内容を理解し、様々なシチュエーションで実践できる | グループプレゼンなど、応用的なプレゼンテーションの内容を理解し、ある程度実践することができる | グループプレゼンなど、応用的なプレゼンテーションの内容を理解している | グループプレゼンなど、応用的なプレゼンテーションの内容をあまりできていない | グループプレゼンなど、応用的なプレゼンテーションの内容を理解していない | | | | |
| 最終プレゼンテーション | 最終プレゼンテーションで総合的に評価する（レベル4） | 最終プレゼンテーションで総合的に評価する（レベル3） | 最終プレゼンテーションで総合的に評価する（レベル2） | 最終プレゼンテーションで総合的に評価する（レベル1） | 最終プレゼンテーションに参加しなかった | | | | |
| 【教科書】 | | | | | | | | | |
| 【参考資料】 無し | | | | | | | | | |
| 【成績の評価方法・評価基準】 以下の事項を総合的に評価する。 ・課題の提出状況、課題から判断する授業理解度、授業出席率、授業への参加態度 | | | | | | | | | |
| ※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。 | | | | | | | | | |

| 科目名 | | プレゼンテーション | | | 年度 | 2025 |
|------|---------------------|---------------------------------------|---------------------------------|---|------|------|
| 英語表記 | | | | | 学期 | 前期 |
| 回数 | 授業テーマ | 各授業の目的 | 授業内容 | 到達目標=修得するスキル | 評価方法 | 自己評価 |
| 1 | 授業の導入とプレゼンテーションの基本 | プレゼンテーションの目的とゴールを明確にする | プレゼンテーションの重要性 | ビジネスにおけるプレゼンテーションの位置づけと重要性を学習する | | |
| | | | 良いプレゼンテーションの特徴 | 良いプレゼンテーションの特徴を学習する | | |
| 2 | プレゼンテーションの目的とゴールの設定 | | 聴衆を理解する | プレゼンテーションの対象である聴衆を理解する | | |
| | | | メッセージの明確化 | プレゼンテーションで伝えるメッセージを明確にする | | |
| 3 | コンテンツの選定と構造 | コンテンツとストーリーを作成する | 主要なポイントの選定 | 主要なポイントの選定方法について学習する | | |
| | | | 論理的なフローの作成 | 論理的なフローの作成方法について学習する | | |
| 4 | ストーリーテリングの基本 | | 強力なオープニングの方法 | より良いプレゼンテーションのための強力なオープニングの方法について学習する | | |
| | | | ストーリーの構築方法 | より良いプレゼンテーションのためのストーリーの構築方法を学習する | | |
| 5 | ビジュアルデザイン入門 | より良いデザインを考え、それを表現するためのツールを検討する | スライドのデザイン原則 | より良いプレゼンテーションのためのスライドのデザイン原則について学習する | | |
| | | | グラフィックの選定 | より良いプレゼンテーションのためのグラフィックの選定について学習する | | |
| 6 | プレゼンテーションツールの紹介 | | プレゼンテーションツールに求められること | プレゼンテーションツールに求められることについて考えてみる | | |
| | | | PowerPoint, Keynote, Preziなどの基本 | PowerPoint, Keynote, Preziなどのツールについて具体的に考えてみる | | |
| 7 | プレゼンテーションの実践スキル1 | ノンバーバル要素など、実践的なプレゼンテーションについて学習する | ボディランゲージの基本 | プレゼンテーションのスキルとして、ボディランゲージの方法を学習する | | |
| | | | 聴衆とのコミュニケーション | プレゼンテーションのスキルとして、聴衆とのコミュニケーションの方法を学習する | | |
| 8 | プレゼンテーションの実践スキル2 | | 声のトーンとペース | プレゼンテーションのスキルとして、声のトーンとペースを学習する | | |
| | | | 質疑応答のハンドリング | プレゼンテーションのスキルとして、質疑応答のハンドリングを学習する | | |
| 9 | プレゼンテーションの修正と改善 | | フィードバックの受け取り方 | フィードバックを受けた時の受け止め方について考察する | | |
| | | | 評価と改善 | 自分自身の評価や改善点を明確にする | | |
| 10 | グループプレゼンテーションの基本 | グループプレゼンテーションなど、応用的なプレゼンテーションについて学習する | チームでのコミュニケーション | グループプレゼンテーションにおけるチームでのコミュニケーションについて学習する | | |
| | | | ロールの分担 | グループプレゼンテーションにおけるチームでのロール(役割)の分担について学習する | | |
| 11 | リモートプレゼンテーションのヒント | | オンラインツールの使用方法 | オンラインでプレゼンテーションする際のツールの使用方法を学習する | | |
| | | | オンラインでのエンゲージメントの保ち方 | オンラインでプレゼンテーションする際のツールの使用方法を学習する | | |
| 12 | 最終プレゼンテーションの準備 | | トピックの選定 | 最終プレゼンのトピックを選定する | | |
| | | | アウトライン作成 | 最終プレゼンの資料を作成しアウトラインを考える | | |
| 13 | プレゼンテーション演習(1) | 最終プレゼンテーション | プレゼンテーション | 最終プレゼンテーションを実施する | | |
| | | | フィードバックセッション | 受講者同士で演習のフィードバックし合う | | |
| 14 | プレゼンテーション演習(2) | | プレゼンテーション | 最終プレゼンテーションを実施する | | |
| | | | フィードバックセッション | 受講者同士で演習のフィードバックし合う | | |
| 15 | プレゼンテーション演習(3) | | プレゼンテーション | 最終プレゼンテーションを実施する | | |
| | | | フィードバックセッション | 受講者同士で演習のフィードバックし合う | | |

評価方法: 1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価: S: とてもよくできた、A: よくできた、B: できた、C: 少しできなかった、D: まったくできなかった

備考等